

小郡市 災害時備蓄計画

平成24年12月
【令和8年6月改訂】

小 郡 市

小都市災害時備蓄計画

目 次

I. 総則	1
1. 本計画の位置付け	
2. 基本的な考え方	
3. 行政備蓄の対象人口	
II. 備蓄品目	3
1. 食料	
2. 生活必需品	
3. 避難所資機材	
4. 水防に関する防災資機材	
5. 感染症対策品	
III. 備蓄目標	4
1. 食料	
2. 生活必需品	
3. 避難所資機材	
4. 水防に関する防災資機材	
5. 感染症対策品	
6. 備蓄目標数に応じた実際の備蓄要領	
IV. 備蓄計画	8
1. 食料及び生活必需品	
2. 避難所資機材	
3. 水防に関する防災資機材	
V. 備蓄倉庫	8
1. 備蓄倉庫の機能	
2. 備蓄倉庫の体制	
【資料】災害備蓄物資の現状	10

I. 総則

1. 本計画の位置付け

平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災は、地震の規模がマグニチュード9.0と日本観測史上最大の地震災害になりました。さらに、地震に伴う福島第一原子力発電所の事故は、甚大な被害を広大な範囲にもたらしました。この震災による死者・行方不明者は約19,000人、建築物の全壊・半壊は39万戸以上、ピーク時の避難者は40万人以上にのぼり、各種ライフラインの寸断や高速道路、鉄道、港湾などの都市基盤施設にも大きな損害を与えました。

この東日本大震災の発生は、国や県、地方自治体だけでなく、警察、消防、自衛隊等の防災関係機関に大きな脅威を与え、住宅の耐震化整備、避難所・避難施設等の整備、食料・資機材の備蓄などを含む各種の防災対策の整備に大きな教訓を与えることとなりました。この教訓により、全国の自治体では防災対策の基本となる地域防災計画の見直しが進められています。

福岡県においても、新たに令和7年度に地震に関する防災アセスメント調査結果が公表され、福岡県地域防災計画（地震・津波対策編）の見直しが行われています。

本市においても、平成16年3月に災害対策基本法（昭和36年法律第223号）に基づく地域防災計画を策定してきたところですが、今回の福岡県防災アセスメント調査において想定震度の変更が行われてきたことから、小郡市地域防災計画の見直しを行い、逐次災害状況等に伴う修正を進めているところです。

このような中、今回、災害対策基本法に基づく小郡市地域防災計画に包括的に記載された備蓄体制の整備計画に基づき、その個別計画として平成24年度に策定した「小郡市災害時備蓄計画」の一部を改定するものです。

2. 基本的な考え方

本計画における災害時の備蓄体制の構築については、①自助（自らの力で行う）、②共助（事業者や自主防災組織等が助け合う）、③公助（公的機関が支援を行う）の考え方により実施することとします。

また、備蓄体制については、市が行う行政備蓄をはじめとして、市民による平時からの家庭内備蓄の促進や、地域内備蓄、企業内備蓄、流通在庫備蓄等の考え方を踏まえ、市民・企業・行政が一体となって備蓄体制の整備を推進することを基本とします。

上記の考え方に基づき、本計画においては、市が行う行政備蓄に関する計画について重点的に具体化するものであり、行政備蓄の整備に係る計画期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とし、その後は、消費期限の近づいた食料や飲料水等の更新を計画的に行うとともに、令和7年度福岡県地震に関する防災アセスメント調査等を踏まえ、市の人口構成の変化に伴う見直しを行うこととします。

備蓄体制	概 要
家庭内備蓄	家庭内備蓄とは、市民が自らの家庭内において3日以上以上の食料や飲料水の備蓄を行うなど、日頃から災害時に必要な物資を蓄えておくことをいいます。災害時には、交通インフラの麻痺や民間物流施設の被災などのサプライチェーンの途絶により、外部からの救援物資が届きにくい状態になることが想定されることから、各家庭における備蓄を促進していく必要があります。
地域内備蓄 企業内備蓄	地域内備蓄とは、地域の自治会・町内会や自主防災組織等が平常時の活動において、自主的に地域内において災害応急対策に必要な防災資機材、食料や飲料水等の備蓄品を確保しておくことをいいます。また、企業等は、災害時における従業員との連絡方法を定め、3日以上以上の備蓄等を推進し、災害が発生した場合には、地域住民と協力し、周辺地域における防災活動を協働で行うことが求められています。
流通在庫備蓄	流通在庫備蓄とは、食料品店などの事業所等と市があらかじめ協定等を締結し、災害時に必要な物資（食料や生活必需品等）を調達することをいいます。この流通在庫備蓄を活用していくことによって、市全体の備蓄体制の構築に努めるとともに、平時から事業所等との協定書を積極的に締結することによって、円滑な物資の調達体制を確保していくことが必要です。
行政備蓄	行政備蓄とは、市が平時から行う食料等の備蓄をいいます。大規模な災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として平時から食料や飲料水、生活必需品及び災害応急対策に必要な防災資機材等の備蓄を行うことが必要です。

3. 行政備蓄の対象人口

市が行う行政備蓄については、令和7年度福岡県地震に関する防災アセスメント調査における最大避難者数が「3,700人」であるため、「4,000人」を目安として備蓄数量の算出を行うこととします。また、それぞれの年齢区分別に必要な備蓄品については、下記の対象人口に基づき算出することとします。

【行政備蓄における年齢区分別の対象人口】

年齢区分	対象人口	構成割合	摘要
対象者数	4,000 人	100.00%	飲料水、乾燥スープ
0 歳	27 人	0.67%	液体ミルク、紙おむつ（乳児用 S サイズ [*] ）、使い捨て哺乳瓶
1 歳	28 人	0.71%	白がゆ（レトルト）、紙おむつ（幼児用 M サイズ [*] ）
2 歳	29 人	0.74%	白がゆ（レトルト）、紙おむつ（幼児用 L サイズ [*] ）
3 歳	36 人	0.89%	携帯おにぎり（アルファ米）、紙おむつ（幼児用 L サイズ [*] ）
4～69 歳	2,980 人	74.49%	携帯おにぎり（アルファ米）
70 歳以上	900 人	22.51%	梅がゆ（レトルト）
10～55 歳（女性）	1,052 人	26.29%	生理用品
要介護認定 3 以上	58 人	1.45%	紙おむつ（高齢者用 M～L サイズ [*] ）

※構成割合は、国勢調査（令和2年10月1日現在）に基づき算定

※要介護認定3以上の対象人口については、令和8年1月末現在の人数で算定

Ⅱ. 備蓄品目

1. 食料

食料については、日常生活の主食に近い米飯を中心とし、避難生活をするにあたって必要と思われる次の物資を備蓄することとします。

(1) 液体ミルク

乳児用（0歳）として、アレルギー対応型の液体ミルクを備蓄します。

(2) 白がゆ（レトルト）

幼児用（1～2歳）として白がゆを備蓄します。また、食物アレルギーの方等への対応については、アレルギー物質（特定原材料等）28品目を含まず、摂取塩分が過多にならないよう、白がゆで対応することとします。

(3) 携帯おにぎり【わかめ】（アルファ米）

幼児（3歳）及び成人（4～69歳）用として、アレルギー物質（特定原材料等）28品目を含まず、手を汚さず作って食べることができる携帯おにぎり【わかめ】を備蓄します。

(4) アルファ米（梅がゆ）

高齢者用（70歳以上）として梅がゆを備蓄します。食物アレルギーの方等については、白がゆで対応することとします。

(5) 乾燥スープ

幼児（1～3歳）、成人（4～69歳）、高齢者（70歳以上）の塩分を補給するため、お湯を入れるだけで調理ができる乾燥スープを備蓄します。

(6) 飲料水

飲料用として、ペットボトル型（2ℓ）の飲料水を備蓄します。

2. 生活必需品

生活必需品については、避難生活を行う際に必要と思われる次の物資を備蓄します。

- 使い捨て哺乳瓶、紙おむつ（乳幼児用）、介護おむつ（高齢者用）、生理用品、災害用食器等

3. 避難所資機材

避難所資機材については、各避難所において避難所生活や災害時の応急対策活動等、避難所運営等に必要と思われる防災資機材及び生活資機材を備蓄します。

- 救助資機材セット、脚立、ブルーシート、ロープ、ハンドメガホン、懐中電灯、発電機、ガソリン携行缶、ガソリン缶詰、オイル缶、防災用投光器、コードリール、防災用ヘルメット、車イス、リヤカー、担架、ポリタンク、防災倉庫、大型救急箱、毛布、簡易トイレ、トイレットペーパー、ティッシュ、パーテーション（段ボール、テント）、マット、簡易ベッド等

4. 水防に関する防災資機材

水防に関する防災資機材については、風水害や集中豪雨が発生した際に必要と思われる次の資機材等を備蓄します。

- 排水ポンプ、簡易型水中ポンプ、防災ボート、船検用品セット、土のう袋、土工具、木杭等

5. 感染症対策品

避難所内の感染症拡大防止のため、必要と思われる感染症対策品を備蓄します。

- マスク、手指消毒液、パーテーション、マット等

Ⅲ. 備蓄目標

1. 食料

食料については最大避難者数約4,000人に対し1日3食分（12,000食）以上を目標に、以下のとおり備蓄を行うこととします。

なお、将来的な備蓄数については、スペース確保の状況に応じて3日分を目標に備蓄数を増やしていきます。

（1）液体ミルク 《対象：0 歳》

1回当たりの調乳量を1本（200ml）とし、1日5回2日分を目安として1人当たり10本（2ℓ）を備蓄。
（液体ミルクについては保存期間が1年程度であることから毎年度購入。）

【目標数量】 27人×10本（2ℓ）＝270本（54ℓ） ※保存期間1.5年

（2）白がゆ（レトルト） 《対象：1～2歳》

1人当たり3食分を備蓄。

【目標数量】 57人×3食分＝171食 ※保存期間5年

（3）携帯おにぎり【わかめ】（アルファ米） 《対象：3～69歳》

1人当たり3食分を備蓄。注水後の内容量は1食当たり100g程度。

【目標数量】 3,016人×3食分＝9,048食 ※保存期間5年

（4）梅がゆ（レトルト） 《対象：70歳以上》

1人当たり3食分を備蓄。注水後の内容量は1食当たり100g程度。

【目標数量】 900人×3食分＝2,700食 ※保存期間5年

（5）乾燥スープ 《対象：0歳を除く》

1人当たり3食分を備蓄。

【目標数量】 3,973人×3食分＝11,919食 ※保存期間5年

（6）飲料水 《対象：対象者全数》

1人当たり1日3ℓの1日分を備蓄。

【目標数量】 4,000人×3ℓ/1日＝12,000ℓ ※保存期間12年

2. 生活必需品

生活必需品については3日以上を目標に、以下のとおり備蓄を行うこととします。

（1）使い捨て哺乳瓶 《対象：0 歳》

1人当たり10本（240ml/本）を備蓄。

【目標数量】 27人×10本＝270本

- (2) 紙おむつ（乳幼児用）　《対象：0～3歳》
- ① 紙おむつ（乳児用：Sサイズ）《対象：0歳》
1人当たり10枚/日×3日分を備蓄。
【目標数量】　27人×10枚/日×3日分＝810枚
- ② 紙おむつ（幼児用：Mサイズ）《対象：1歳》
1人当たり8枚/日×3日分を備蓄。
【目標数量】　28人×8枚/日×3日分＝672枚
- ③ 紙おむつ（幼児用：Lサイズ）《対象：2～3歳》
1人当たり4枚/日×3日分を備蓄。
【目標数量】　65人×4枚/日×3日分＝780枚
- (3) 介護おむつ（高齢者用：M～Lサイズ）　《対象：要介護認定3以上》
1人当たり6枚/日×3日分を備蓄。
【目標数量】　58人×6枚/日×3日分＝1,044枚
- (4) 生理用品（昼用）《対象：10～55歳（女性）》
対象人数×1/4（該当比率）×7枚/日×3日分を目安として備蓄。
【目標数量】　1,052人×1/4×7枚/日×3日分＝5,523枚
- (5) 生理用品（夜用）《対象：10～55歳（女性）》
対象人数×1/4（該当比率）×1枚/日×3日分を目安として備蓄。
【目標数量】　1,052人×1/4×1枚/日×3日分＝789枚
- (6) 災害用食器セット《対象：対象者全数》
対象者全数の食器セットを目安として備蓄。
【目標数量】　1セット（100人用）×40セット＝4,000人分
- (7) 携帯トイレ《対象：4歳以上》
1人当たり5回分を備蓄。
【目標数量】　3,880人×5回分×3日分＝58,200回分

3. 避難所資機材

各避難所等の防災倉庫における資機材の備蓄については、災害時の指定避難所26カ所、福祉避難所2カ所（小郡市生涯学習センター、小郡市総合保健福祉センターあすてらす）及び市役所（災害対策本部）1カ所の合計29カ所において、各避難所の収容人数・機能等に応じて以下のとおり備蓄を行うこととします。

資機材名		仕様	目標数量	
防 災 資 機 材	防災倉庫		避難所等 29 カ所×1 基	29 基
	脚立	高さ 1,270～1,570mm	避難所等 29 カ所×1 本	29 本
	ブルーシート	3.6m×5.4m	避難所等 29 カ所×3 枚以上	129 枚
	ロープ	9Φ×200m又は 50m	避難所等 29 カ所×2 本以上	68 本
	ハンドメガホン	23W、単二電池 6 個	避難所等 29 カ所×1 個以上	66 個
	懐中電灯	単一電池 4 個	避難所等 29 カ所×5 個以上	230 個
	発電機	2.5kVA	避難所等 29 カ所×1 台以上	30 台
	ガソリン携行缶	20 ℓ	避難所等 29 カ所×2 個以上	58 個
	防災用投光器	300W（5m コード）	避難所等 29 カ所×4 個以上	120 個
	コードリール	30m（防滴）	避難所等 29 カ所×4 個以上	120 個
	防災用ヘルメット	白色（JIS 規格）	避難所等 29 カ所×10 個以上	964 個
	車イス	折りたたみ式	避難所等 29 カ所×1 台	29 台
	リヤカー	アルミ組み立て式	避難所等 29 カ所×1 台	29 台
	担架	アルミ四つ折り	避難所等 29 カ所×1 台	29 台
	ポリタンク	20 ℓ	避難所等 29 カ所×3 個以上	124 個
	救助資機材セット	バール、ノコギリ、ハンマー等	避難所等 29 カ所×2～3 セット	70 セット
	大型救急箱	50 人用	避難所等 29 カ所×1 個	26 個
	毛布		避難所等 29 カ所×20 枚以上	1,040 枚
	セタロール	6 ロール×8 個	避難所等 29 カ所×1 箱以上	29 箱
	おり姫ティッシュ	5 箱×10 個	避難所等 29 カ所×1 箱以上	29 箱
	簡易トイレ	組立式、缶式等	避難所等 29 カ所×5 個以上	185 個
	身障者対応トイレ	組立式	福祉避難所 2 カ所×3 セット	6 セット
	携帯トイレ	便袋、凝固剤	避難所等 29 カ所×150 回分以上	19,400 回分
	マスク	N-95、サージカルマスク	避難所等 29 カ所×1000 枚	29,000 枚
	パーティション	テント、段ボール等	避難所等 29 カ所×5～20 セット	370 セット
	マット	折り畳み式等	避難所等 29 カ所×8～40 枚	336 枚

4. 水防に関する防災資機材

風水害を想定した水防に関する防災資機材の備蓄については、水害時における浸水想定地域にある指定避難所3カ所（御原小学校、宝城中学校、味坂小学校）及び水防倉庫3カ所（力武、大板井、東福童）において、以下のとおり備蓄を行うこととします。

資機材名	仕様	目標数量	
排水ポンプ	エンジン式	水防倉庫3カ所×1台	3台
簡易水中ポンプ	電気式	避難所3カ所×3台	9台
防災ボート	FRP製	水防倉庫3カ所×1台	3台
防災ボート	ゴム製6人乗り	避難所3カ所×1台	3台
船検用品セット	法定備品セット	ボート6台×1セット	6セット
土のう袋	100枚/梱包	避難所3カ所×5,000枚	15,000枚
スコップ	剣先	水防倉庫3カ所×40本	120本
ツルハシ		水防倉庫3カ所×5本	15本
かけや		水防倉庫3カ所×10本	30本
ハンマー		水防倉庫3カ所×10本	30本
ノコギリ		水防倉庫3カ所×5本	15本
カマ		水防倉庫3カ所×5本	15本
ナタ		水防倉庫3カ所×5本	15本
バール	90cm	水防倉庫3カ所×2本	6本
ロープ	10m～30m	水防倉庫3カ所×6本	18本
木杭		水防倉庫3カ所×180本	540本
ビニールシート	3,600mm×5,400mm	水防倉庫3カ所×40枚	120枚
一輪車		水防倉庫3カ所×3台	9台

5. 感染症対策品

福岡県防災アセスメントの避難者数及び地震発生時に開設する避難所（27箇所）と災害対応に当たる市職員を基準にして以下のとおり備蓄を行うこととします。

品目	目標数量	
マスク	避難者（4,000人×2枚×3日分） 職員（300人×2枚×3日分）	25,800枚

6. 備蓄目標数に応じた実際の備蓄要領

食料、生活必需品、感染症対策品等は、備蓄品の管理の容易性、一括管理における管理費の節減のため、それぞれの備蓄品の箱（ケース）単位での数量を備蓄することとします。

IV. 備蓄計画

1. 食料及び生活必需品

食料及び生活必需品の備蓄は、平成24年度から5年間で、備蓄目標数の備蓄を完了しており、平成29年度以降は、備蓄品の保存期間に応じた更新を行っています。備蓄品の保存期間に応じた更新に際しては、下表の基準をもって、努めて毎年度同数の更新による経費の効率化を図ります。

また、保存期間1年前の食料（おにぎり）及び飲料水については、小郡市業務継続計画に基づく職員用備蓄品（300名の2日分、1,800食、1,800ℓ）として確保するとともに、保存期間が1年を切った食料については、地域での避難訓練や自主防災組織の研修などで配布し、家庭内備蓄の啓発を兼ねて、地域で活用することによって、防災意識の高揚を図ります。

食料及び生活必需品の保存期限

食料、飲料水	Ⅲ. 備蓄目標に示す期間
使い捨て哺乳瓶	5 年
紙おむつ（乳幼児用）	3 年
介護おむつ	3 年
生理用品	3 年
携帯トイレ	10 年

2. 避難所資機材

避難所等26カ所における避難所資機材等の備蓄は、平成24年度から毎年5カ所ずつ5年間で整備を完了しており、備蓄品の状況に応じて更新・拡充を行っていくこととします。

3. 水防に関する防災資機材

水防に関する防災資機材の備蓄は整備の緊急性が高いことから、平成24年度をもって整備を完了しており、備蓄品の状況に応じて更新・拡充を行っていくこととします。

V. 備蓄倉庫

1. 備蓄倉庫の機能

備蓄倉庫の機能には、分散備蓄倉庫と集中備蓄倉庫の2通りがあります。

分散備蓄倉庫とは、災害時、備蓄物資の供給対象者に対し、すみやかに必要な物資が適宜配分できるよう、災害時の指定避難所を中心に分散して物資を配備する体制をいいます。

集中備蓄倉庫とは、避難者の多い避難所へ物資の配分を図るため、あらかじめ備蓄物資を集中して配備する体制をいいます。また、集中備蓄倉庫は、救援物資等の一時保管場所としても活用できます。

2. 備蓄倉庫の体制

(1) 食料及び生活必需品

災害時に避難者の多い避難所への物資の配分を容易にするため、平時からの衛生管理の徹底を図るため、また、保存期限切れの備蓄食料の入れ替えをスムーズに行うために、集中備蓄を行うことを基本としますが、福祉避難所2カ所、校区コミュニティセンター8カ所への分散備蓄を一部（食料、飲料水の備蓄目標の約10%）行います。また、携帯トイレについては、総合保健福祉センターあすてらすを備蓄拠点とし、適宜、必要数を避難所に配布できる体制とします。

(2) 避難所資機材及び水防に関する防災資機材

災害時に速やかに資機材が活用される体制を構築するため、指定避難所を中心に独立型備蓄倉庫の整備を推進することによって、分散備蓄を行うこととします。また、分散備蓄倉庫に配備する品目は、水防に関する防災資機材を除き、原則として統一的な品目とします。

市役所に避難所資機材及び水防に関する防災資機材を備蓄して、災害対応における予備資機材及び市の業務継続体制維持のための資機材等として柔軟な運用に資することとします。

【資料】災害備蓄物資の現状

〈食料、日用品等の備蓄現況〉（令和８年４月現在）

備蓄場所		集中備蓄	分散備蓄				合 計	
		センコーロジ	市役所	あすてらす	生涯学習Ｃ	各コミセン等		
液体ミルク		２８８					２８８	
食 料 品	白がゆ	２２０					２２０	１４，８８０
	梅がゆ	３，２００					３，２００	
	おにぎり	１１，０６０				４００	１１，４６０	
	乾燥スープ	１３，６８０					１３，６８０	
飲料水（２㍒*ﾄﾙ）		５，８５６	４２	２０４	２０４	１９２	６，４９８	
日 用 品 等	哺乳瓶	２８４					２８４	
	おむつ(S)	１，２７２					１，２７２	３，６４０
	おむつ(M)	１，２８０					１，２８０	
	おむつ(L)	１，０８８					１，０８８	
	介護おむつ	１，０８０					１，０８０	
	生理用品（昼用）	６，６０８	２，３０４				６，９１２	
	生理用品（夜用）	１，００８					１，００８	
	食器セット	５，０００					５，０００	
	携帯トイレ		２１０	３０，３７０	４７０	７，８００	３８，８５０	

〈防災倉庫等における備蓄品一覧表〉 別紙参照

〈水防資機材の保有状況〉

水防資機材の保有状況調べ（令和８年４月現在）

	力 武	大板井	東福童	消防団 倉庫	合 計
土のう袋	1,000 枚	1,000 枚	800 枚	0 枚	2,800 枚
スコップ	25 本	37 本	10 本	8 本	80 本
かけや	13 本	12 本	9 本		34 本
ハンマー	2 本	8 本	9 本		19 本
ツルハシ	0 本	5 本	5 本		10 本
鋸	2 本	2 本	9 本		13 本
竹切りノコギリ	2 本	2 本	2 本		6 本
草刈鎌	10 本	9 本	4 本		23 本
ナタ	4 本	5 本	9 本		18 本
斧	2 本	2 本	4 本		8 本
バール	4 本	2 本	2 本		8 本
ペンチ	6 本	4 本	5 本		15 本
ロープ（100m）	6 本	6 本	7 本	2 本	21 本
木杭	450 本	50 本	75 本		575 本
鉄杭			1 本	35 本	36 本
タコ（４ツ手）		1 個	1 個		2 個
針金	2 本	3 本	3 本	3 本	11 本
縄玉	9 個	3 個			12 個
一輪車	2 台	3 台	4 台		9 台
ビニールシート	20 枚	16 枚	11 枚	5 枚	52 枚
船（FRP ボート）	1 台	1 台	1 台		3 台
船検用品セット	1 セット	1 セット	1 セット		3 セット
排水ポンプ	1 台	1 台	1 台		3 台

防災倉庫等における備蓄品一覧表

令和8年4月現在

備蓄品名	市役所	のぞみが丘小	三国中	三国CC	三国小	東野小	東野CC	大原小	大原中	大原CC	小郡小	小郡中	小郡CC	シルバー人材センター	立石CC	立石小	立石中	御原CC	御原小	宝城中	味坂小	味坂CC	生涯学習センター	あすてらす	大崎市民館	下岩田市民館	合計
防災倉庫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	施設内倉庫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	25
脚立(伸縮脚付き)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	23
ブルーシート	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	3	3	4	5	3	5	5	5	5	3	3	117
ロープ(200m又は50m)	8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	78
ハンドメガホン	16	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	86
懐中電灯	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	5	10	10	10	9	10	10	10	9	10	8	5	5	240
発電機(2.5kVA)	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	27
ガソリン携行缶(20ℓ)	6	3	2	3	3	2	3	3	3	3	2	2	3	0	2	3	2	3	2	3	2	2	0	0	2	2	61
防災用投光器	10	5	4	5	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	120
コードリール(30m)	10	5	4	5	5	4	5	4	5	5	4	4	4	3	5	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	119
防災用ヘルメット	124	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	20	60	20	40	40	40	40	40	40	40	40	40	34	1,098
車イス(災害用)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26
リヤカー(組み立て式)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26
担架	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26
ポリタンク(20ℓ)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	129
救助資機材セット	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	3	3	72
大型救急箱(50人用)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26
毛布	20	40	40	66	40	40	65	40	50	60	40	45	60	40	40	60	40	60	40	59	40	40	60	50	20	20	1,175
七タロール(6ロール×8個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	25
おりひめティッシュ(5箱×10個)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	24
簡易トイレ(組立式、缶式)	15	5	5	9	5	5	9	5	5	9	5	5	7	5	9	5	5	9	5	5	5	9	10	10	5	5	176
身障者対応トイレ(組立式(洋式))															2							2	0	2	0	0	6
簡易トイレキット(便袋、凝固剤)	210	300	400	390	300	300	390	300	400	390	300	400	390	390	390	300	400	390	300	400	300	390	470	30,370	140	140	38,850
マスク(不織布、サージカルマスク)	574	1,000		1,020			970			1,000						1,000	0	0	0	940	1,000	0	7,206	31,170	0	0	45,880
パーテーションテント	8	11	11	9	11	11	9	11	11	9	11	11	9	9	9	11	11	9	11	11	11	9	17	27	9	9	285
段ボールパーテーション	1	5		10	10		10			10		10	10		10	0	0	10	15	12	0	15	0	0	3	0	131
マット(アルミ折りたたみマット・備蓄マット)	30	20			20							20				10	0	0	28	40	20	0	40	40	0	0	268